

合格体験記 23

早稲田大学 商学部 進学

他の主な合格校：早稲田大学教育学部 上智大学文学部

1 志望校決定について

3年の7月下旬。はじめは国立大学を目指していましたが、2年生の時に行った早稲田大学のオープンキャンパスが忘れられず、早稲田大学を目指すことにしました。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

1年の時は定期テストの勉強を2週間前から勉強、最低限の課題をこなしていました。

- ① 2年の夏休みが終わってから英語、古文の単語帳をコツコツ覚え始めました。3年の春には1冊ずつある程度は覚えていました。英語、古文に関しては、本格的に勉強が始まる前に単語を覚えていたので、大きなアドバンテージになりました。
- ② 課題、定期テストは大切にしておいてよかったと思いました。授業で扱った出典が、自分の受験校の漢文で出題されました。定期テストも真面目に勉強していてよかったなど心底思いました。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

- ① 授業は先生の黒板をただ写すのではなく、知らなかったこと、わからなかったこと、印象に残った話も書き残していました。
- ② 毎日小さな目標を立てていました。寝る前に自信の無い単元を見つけ、次の日の学習で完璧にするようにしていました。
- ③ 謙虚な心構えで勉強に臨んでいました。勉強する量が多いと忘れる量も増えます。1度完璧にした単元もすぐ忘れます。得意分野でも本当に完璧か疑って徹底的に問題を解いていました。
- ④ 大量の参考書を覚えるより数を絞って頭に叩き込むことが自学自習の鍵だと思います。問題集は大量にこなしました。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

英語：ターゲット1900, 熟語ターゲット1000

速読英単語上級編, vintage

国語：古文単語330, システム現代文

日本史：一問一答(東進), 実力をつける100題

※ 特に役に立った参考書を厳選しました。問題は基本的に大学の過去問を解いていました。自分の受験するそれぞれの大学、学部の傾向を1冊のノートにまとめ、対策をして

いました。

(4) 模試の活用方法

模試を受けたらすぐ復習しました。模試ノートを自分で作ることを塾に勧められましたが使い慣れた参考書に書き残す方が楽な上、反復数も多くなるのでおすすめです。

(5) 予備校の活用方法

河合塾に通っていました。参考書の暗記事項を頭に入れてから受講することを強く勧めます。一人でもできる暗記を済ませ、実践的な解き方を塾で身につけることが効果的です。入塾する時は、参考書の暗記は一通り済んでいるか、信頼できる先生か、自分のレベルに合ってるかなど慎重に判断してください。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

勉強と行事の切り替えはとても大切だと思います。力の入れ方は人それぞれだと思いますが、後悔して引きずらないようにしてください。

(7) 後輩へのアドバイス

- ① 入試の傾向、制度、勉強法などとにかく情報が大切です。自分の知りたいことは先生や先輩に、積極的に質問してください。特に受験する学校と学部の決定は今後の4年間を決める重要なことなので、先生はもちろん家族とも話し合ってください。
- ② テスト直前にしか勉強していなかったことを後悔しました。すぐ忘れてしまうのでほとんど意味がありませんでした。なので、定期テストのための勉強をするのではなく、大学入試に向けた普段の学習の成果を定期テストで試す気持ちで臨んでください。
- ③ 勉強の仕方は人それぞれなので自分で考えて組み立てて欲しいです。よく考えた上で先生や先輩に相談すれば、さらに質のいい勉強法になるはずです。

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

とても楽しかったです。いい友達、先輩、後輩に恵まれました。

(9) 合格した時の喜び

どの大学も嬉しかったです。とりわけ最初の合格通知は私立全落ちを心配していた僕にとって安心だけでなく自信ももたらしてくれました。家族、友達、先生に感謝です。